

ひの 議会だより

No. 94

平成24年7月
発行/日野町議会

6月定例会 主な内容

補正予算・条例改正等	p 2~4
常任委員会活動報告	p 5
一般質問(6人)	p 6~11
特集コーナー	p 12

国保税が下がります

課税総額が前年度より1,752万円減額予定

一世帯当り平均保険税前年度対比 減額 5,560円

6月定例会は、6月12日開会し、会期を6月19日までの8日間とし、補正予算2件、条例の制定1件と一部改正2件、工事請負契約の締結1件、規約の変更1件、賦課基準の変更1件、計8件を原案のとおり可決し、閉会しました。

一般会計補正予算は、2205万円を追加して、総額を31億1876万円にするものです。

財源は、
国庫支出金113万円、

県支出金1224万円、

財産収入 320万円

基金繰入金200万円です。

国民健康保険特別会計補正

予算は、2万円を追加して、

総額を4億1000万円にする

ものです。

国民健康保険税について

国民健康保険税課税総額は、

主に医療費の減少で

昨年度より1752万円減の

5726万円の見込みとなり

一世帯当りの平均徴収額は、

減額となります。

また平成20年度から税率を

変えていないことから、所得割

資産割の率や、均等割、平等

割の額を条例改正するもので

す。

枠内は、一般会計、国保会計の主な支出です。

町営バス修繕費
65万円

根雨駅前

ポケットパーク

観光案内板修繕費
200万円

農業振興

町農業再生協議会

補助金 59万円

人・農地

プラン作成事業

農家アンケート
32万円

本郷井出改修工事

区間延長
100万円

町行造林間伐事業

(58ヶ所)委託料
600万円

※数字は、千円以下切り捨て表示



拡幅される町道天王線
(根雨神社横)



町営バスと駅前ポケットパーク

林業振興

緑の産業再生プロ

ジェクト事業補助金
211万円

森林整備地域活動

支援事業交付金
260万円

嘱託職員人件費

文化ホール
135万円

公民館

108万円

消防団退職報奨金

2人分
107万円

エコツーリズム

国際大会負担金
10万円



条例の一部改正

○日野町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険特別会計の運営に必要な財源を、国民健康保険税で確保するために税率を改正するものです。

この改正により一世帯当たりの国民健康保険税額は、平成23年度と比較すると5560円の減額となります。平均値ですので世帯ごとでは、増額あるいは、減額となります。

○日野町営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正

公営住宅法の一部改正に伴い「同居親族要件」「入居資格要件」が廃止されたことにより、単身者の入居が可能となる改正です。

条例の制定

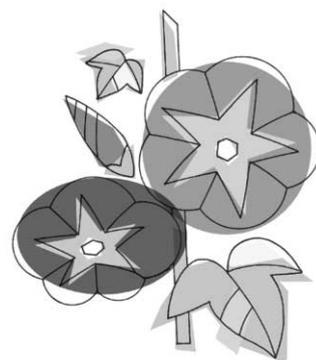
○住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との

平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

法改正により、外国人登録法も同日で廃止され、外国国籍を有する個人も滞在期間など一定条件をクリアすれば、



「受けようガン検診」



日本国籍の個人と同じく、住民基本台帳法の適用を受けることとなり、次の関連条例の文言の削除、追加等が必要となつたため制定するものです。

- ・日野町課設置条例の一部改正
- ・日野町印鑑条例の一部改正
- ・日野町手数料徴収条例の一部改正

臨時会

臨時会を、5月22日に開会し、専決処分3件、条例の一部改正1件、補正予算1件を承認、原案のとおり可決し、閉会しました。

専決処分

○日野町税条例の一部改正

○日野町国民健康保険税条例の一部改正

学校給食費
4月19日、学校給食で副食の提供を中止したことによる材料費の負担金
5万円

国民健康保険特別会計
ジェネリック医薬品の普及促進
2万円

※ジェネリック医薬品とは、特許が切れた医薬品を他の製薬会社が製造する医薬品のこと、通常単価が安くなる。

公民館用備品
パイプイス、折りたたみ机、座イス、座机、ワイヤレスアンブ・マイク、テント、ターゲットゲーム他
25.5万円

人権擁護委員
候補者の推薦

日野町安原
杉原 和江さん(再任)
任期 平成24年10月1日
から3年間

条例の一部改正

日野町職員の給与に関する条例の一部改正
人事院勧告により、平均0.23%引き下げた給料表に改正するものです。

一般補正予算

「まんが王国とっとり」

木山義喬氏風刺画

展示・紹介 211万円
保育所備品購入 6万円

○平成23年度一般会計補正予算

日野病院組合負担金77万円
町債償還金(返済金)

500万円

教育民生常任委員会 報告

保・小・中の一貫教育で

教育委員会と意見交換

教育委員会と、4月27日、日野町子ども15年プランの推進等について話し合いました。

日野町子ども15年プランというのは、0歳から15歳までを一貫して「心豊かに、たくましく羽ばたく、日野の子の育成」を目指すもので、平成23年3月に策定され、昨年度から保育所・学校を始めとして、家庭・地域で推進(実施)されています。



最初に、其山指導主事から子どもプラン①実施5ヶ年計画、②保小連携推進計画、③小学校6年生郷土学習資料「わたしたちのまち日野町」歴史編、④日野町子ども食育推進計画、⑤日野町における「子育ての知恵袋」などについて説明を受けました。

○郷土学習資料で、子どもたちが偉人・郷土に誇りを持つことは大切です。他にも誇れるものがあると思うが、掘り起しが必要である。

○学校支援地域本部事業では、地域コーディネーターが重要である。人任せにはいけない。また、子育ての知恵袋は良い意見が出ていました。

学校図書館司書の配置で成果が

今年で2年目を迎えた。以前に比較して貸出冊数が10倍に増加した。読書は、学力の向上に繋がるので、継続して欲しい。本をたくさん借りて帰るようになったと町民の声が出ています。成果が期待されます。

○全戸配布された「凡事徹底」は子どものしつけに効果があった。「早寝 早起き 朝ごはん」のクリアファイルも生かしたい。

23年度でプランを作成したので、今年度から現場に出て指導をしたいと、其山指導主事。

その成果に期待したいと思います。



伯耆町のバス運行 行政調査 5/24

小中学生の通学を中心にしながら、デマンド運行を実施。他に軽自動車でのサービスをされています。

一部予約型バスの運行
伯耆町のバス運行は、小中学生の通学手段を確保することを基本としています。

バスを小型化し、交通空白区域の解消を図り、町民誰もが同じようにバス利用ができるよう一部予約型(デマンドバス)で運行されました。

外出支援サービス

生活保護者は無料で、町内片道1回200円、町外は距離数で1200円まで。

軽自動車によるサービス

介護サービスやデマンドバスも利用できない人の交通手段の確保は、軽自動車によるドア-to-ドアサービスの実施を他にタクシーも活用されています。(年間利用千人)

研修バス

バスの空き時間を活用して、各種団体の活用など多目的に運行(年間400回程度)。

利用料金

バスは、小・中学生は無料、高校生・一般は200円、障がい者・70歳以上100円。平成23年度決算は、約1億6000万円。内、町繰入金は約930万円でした。

今回の行政調査で、本町の公共交通のあり方について、調査検討することになりました。

総務経済常任委員会 報告